

令和元年11月1日(金)第3校時 指導者：HRT 1年担任 (T1)
 HRT 2年担任 (T1)
 ALT (T2)
 HRT 特別支援学級担任 (T3)

1 単元名 「Welcome to Autumn festival! ～秋祭りへようこそ～」

2 単元の目標

- 数や果物を表す表現に慣れ親しむ。 (知識・技能)
- 数や果物を表す表現や数を尋ねる表現を使って、友達や先生とコミュニケーションを図る。 (思考力・判断力・表現力)
- 数や果物を表す表現や数を尋ねる表現に関心を持ち、進んで友達や先生とコミュニケーションを図ろうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
1年：1から12までの数字や果物を表す表現に慣れ親しんでいる。 2年：1から20までの数字や果物を表す表現に慣れ親しんでいる。	・ 数や果物を表す表現や数を尋ねる表現を使って、友達や先生とコミュニケーションを図っている。 1年：尋ねられたことに答えている。 2年：質問をしたり、答えたりしている。	・ 数や果物を表す表現や数を尋ねる表現に関心を持ち、進んで友達や先生とコミュニケーションを図ろうとしている。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと [やり取り]	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

5 指導上の立場

(1) 単元観

本単元では、ゲームの中でのやり取りを通して、数を表す表現や数を尋ねる表現、秋の果物を表す表現に慣れ親しむことをねらいとしている。1年生の児童は、算数科で20までの数を学習し、身の回りの物の数に興味をもっている。果物は1学期に取り扱った教材であるため、覚えられたことや発音できたことに対して自信をもっている児童が多い。本単元では、児童の関心の高い「数と果物」を言語材料として扱い、生活科の「秋見つけ」で探した秋の自然物を使ったゲームを行うことで、児童が楽しく主体的に活動することを目指す。

児童は、生活科「いろいろかたち たくさんみつけた」の学習として、1・2年生で校外学習に行き、秋の自然物を採集してくる。第1・2時では1年生と2年生は別々でそれらを用いたゲームを中心とした言語活動を展開し、数を表す表現や数を尋ねる表現を、楽しく繰り返し使い、慣れ親しむことを目指す。

本時となる第3時で、1・2年生は合同で言語活動を行い、人数が増える楽しさやピア・サポート活動による学びの深まりを実感できるようにする。本時の活動に満足感を得た児童が、次はもっと多くの人と英語で活動したいという思いをもち、本単元のゴールであるなかよしバラエティー集会での言語活動につなげられるようにしたい。

(2) 児童観 (1年生 男子7名 女子2名 計9名・2年生 男子6名 女子7名 計13名)

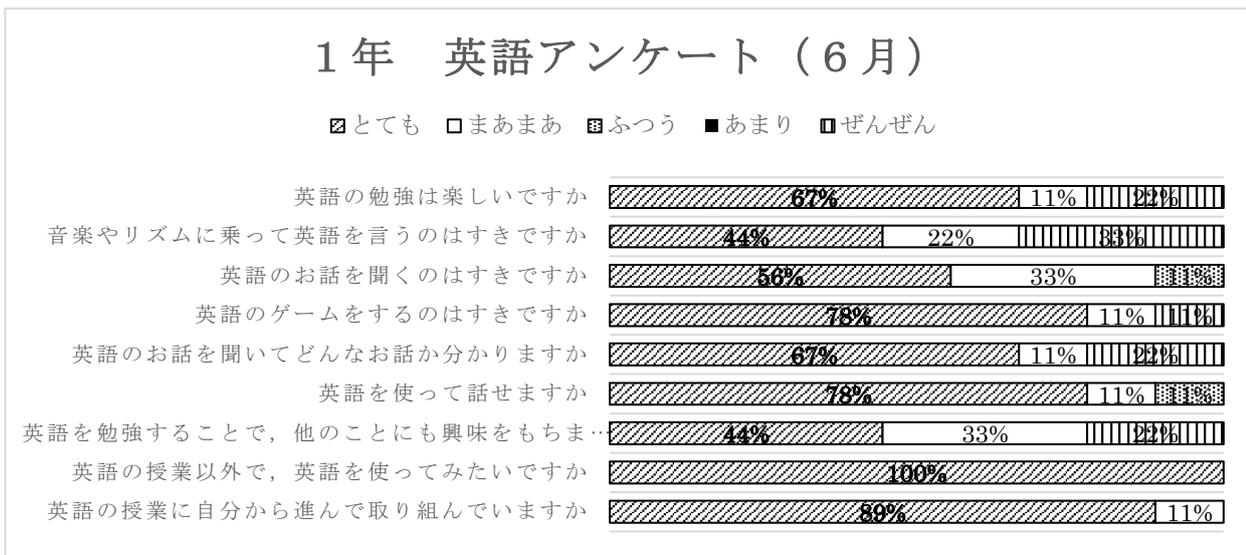
1年生と2年生は4月からピア・サポート活動により、生活科の学校探検、遊具の使い方の説明、サツマイモ畑作りなどを共にしてきており、6月には合同で外国語活動を行っている。2年生は、1年生の頑張りを認めながらも、もっと教えてあげたいという思いを強めている。また、1年生は2年生を身近な手

本として、一緒に学習することで、学びを深めている。さらに学習を進めていく中で、児童の中から幼稚園児や他学年の児童との交流もしてみたいという思いが高まってきて、1学期には幼稚園児と1・2年生の英語交流も実現した。本単元でも、異学年での交流を通して、英語を使って交流することの楽しさを感じ、児童が自ら広い世界に目を向け、たくさんの人と関わりたいという思いをもつことを期待する。

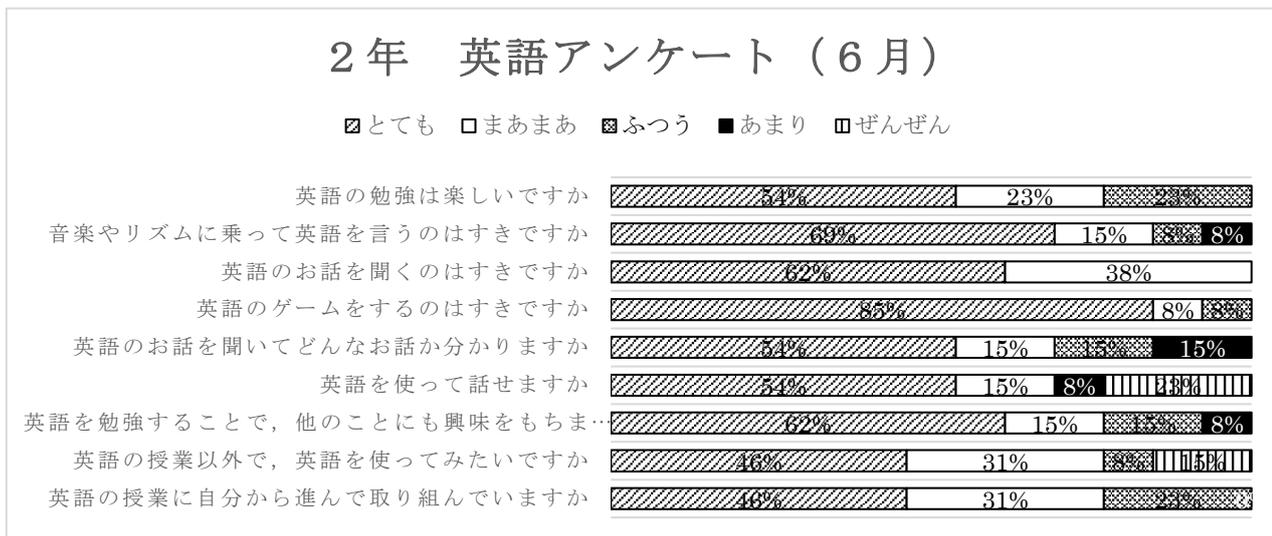
1年生は、まだ自己中心的な発達段階であり、友達の考えや思いにあまり興味がない面が見られる。外国語活動の言語活動を通して、友達のことを知ったり、友達と関わることの楽しさを感じたりしてほしい。9名（うち1人は特別支援学級からの交流）のうち、8名は幼稚園のときに英語特区での活動を経験しているため、英語に対して意欲的であり、楽しく踊ったり歌ったりする姿がうかがえる。英語特区での活動を経験していない児童は、入学当初の外国語活動ではあまり英語に対して興味を示していない状況だった。しかし、リズムによって発音したり、友達と一緒に話したりする活動を多く取り入れることで、だんだんと外国語活動に進んで参加するようになってきている。その他にも慣れない環境や初めてのことと出会うと、落ち着いて活動することが難しい児童が多くいる。そのため、見通しをもたせて学習を進めていくことや、できたことを褒めて、自信をもたせるような雰囲気づくりを大事にしたい。

2年生は、6月に行ったアンケートの結果（図2）から、英語のゲームをすることが好きな児童が93%と高いことが分かる。本単元でも、ゲームなどの楽しい活動を積極的に取り入れて、自然と英語に親しむことができるようにしたい。一方で、英語を勉強することで、他のことに興味をもったり、授業以外で英語を使ってみたいと感じたりしている児童の割合が低いことが分かる。生活科で見つけた秋の自然物を英語で言ったり、なかよしバラエティー集会で英語を使った店を出したりすることで、英語の授業にとどまらず、様々な場面で英語を使う楽しさを感じ、興味を広げていく児童の姿が見られるように努めたい。

※図1：今年度6月に1年生に対して行ったアンケート結果（n=9）



※図2：今年度6月に2年生に対して行ったアンケート結果（n=13）



(3) 研究主題との関わり

本校の研究主題「自分の思いや考えを伝え合い、地域や世界とつながろうとする児童の育成～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を通して～」に迫るために、本校の考える仮説を基に、次のような工夫をする。

仮説1について

単元や発達段階の特性を踏まえて言語活動を工夫することにより、児童は、自分の思いや考えをもち、それを伝え合おうとするであろう。

1年生はルールを理解したり、初めての活動に取り組んだりすることが難しい状況である。そこで、2年生と一緒に活動することにより、やり方が分かったり、スムーズに活動できたりするため、英語での活動の楽しさを感じやすくなるのではないかと考える。そこから、もっと英語に触れたい、伝えたいという思いを膨らませていきたい。また、2年生という発達段階では、「下級生の手本になりたい」「下級生に分かりやすく教えたい」という意識をもつ児童が多い。そのため、1年生と一緒に活動をすることで、自分の思いを分かりやすく伝えようとする意識が芽生えるのではないかと考える。1・2年生という発達段階では特に、具体物を使いながら学習をしていく。そのため、どんぐりやまつぼっくりなどの秋の自然物を集めたり渡したりする活動をすることにより、意欲的に自分の思いを伝え合うことができるようにしたい。また、ゲーム要素を取り入れることで、楽しみながら英語を用いた交流学习をできるようにする。

本時では、1・2年生が合同で学習を行う。Activityでは、友達と英語でコミュニケーションを図りながらどんぐりを集めるゲームや、友達と協力するゲームを行い、英語の交流を楽しむことができるようにする。Activity②では、算数科で学習した数の合成と分解の思考を用いて、12になる数作りを行う。そうすることで、必要な数を英語で伝える本物の言語活動の場面をつくる。

仮説2について

学びのつながりを意識して単元（新本オリジナル）を構成すれば、本物で必然性のある言語活動が生まれ、児童は主体的に学習に取り組むであろう。

本単元では、生活科「いろやかたち たくさん見つけた」とのつながりを意識して単元を構成している。生活科の校外学習で見つけた秋の自然物を使って、外国語活動では、数やその尋ね方を主に学習する。6月に行った1・2年生の交流学习の中で、多くの児童が、3年生以上の他学年の友達とも交流したいという思いをもっていることが分かった。そこで、全校で行うなかよしバラエティー集会で、英語を使った交流をすることを単元のゴールとして設定した。本単元での学習を通して、秋の自然物を使うゲームを、さらに英語で他学年の友達としたいと感じられるようにしていきたい。

このようにして、生活科やなかよしバラエティー集会とつなげたり、異学年での交流をしたりすることにより、活動に必然性をもたせ、楽しく主体的に英語に慣れ親しむことができるのではないかと考える。そして、英語で交流することの楽しさや達成感を味わえるようにしたい。

仮説3について

HRT（学級担任）、ALT（外国語指導助手）、小中連携担当教員、ゲストティーチャーなど様々な人々と関わることによって、コミュニケーションの楽しさを味わい、より広い世界に目を向けるであろう。

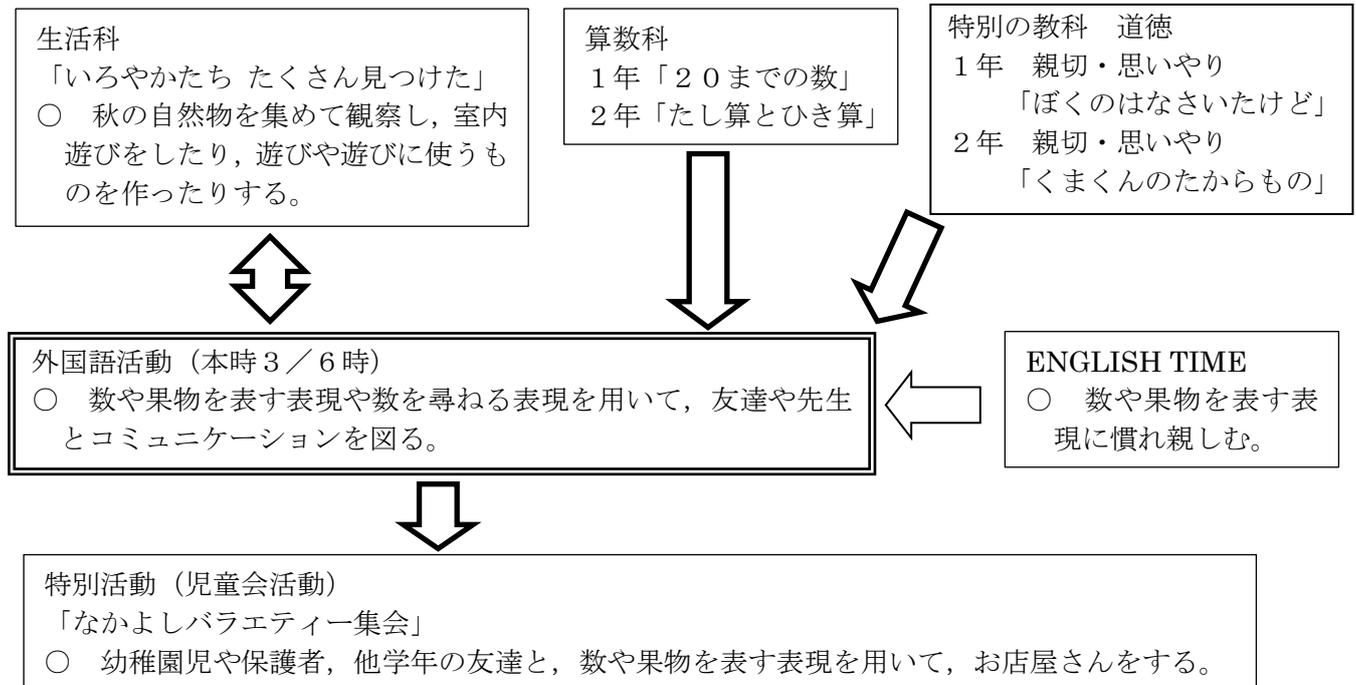
「授業を主に進めるHRT」、「発音や発声の指導、英語表現の支援をするALT」と、それぞれの特徴を生かした役割分担をし、ティームティーチングを行っている。

本単元では、尋ねられたことにしっかり反応する姿を認めることで、話しやすい雰囲気をつくり、英語を話すことに対する自信をもてるようにしたい。また、それぞれの視点で、よいと思った児童の姿や課題を捉えて共有することで、次の活動への意欲をもてるようにする。

本時では、T1 (HRT) が主に授業を進め、T2 (ALT) は児童と一緒に発音をしたり、T1 (HRT) と一緒にデモンストレーションをしたりする。T3 (HRT) は全員が授業に参加することができるように、困っている児童に個別に声かけや支援をする。英語の発音指導や英語表現の復習はT2 (ALT) が行う。

このように、指導者が様々な立場に関わることにより、児童が自分の思いを伝えやすくなり、コミュニケーションの楽しさを十分に味わうことができると考える。そして、本単元では1・2年生が互いにに関わり合い、それぞれに学びを深めていく。1・2年生での英語を用いた交流の楽しさを感じた上で、英語をもっと使いたいという気持ちを持ち、次は幼稚園や他学年の児童とも交流したいという、より広い世界との関わりへと気持ちを膨らますことができるようにしたい。

6 関連構想図



7 本時案 (第3時)

(1) 本時のねらい

数や果物を表す表現や数を尋ねる表現を使って、友達や先生とコミュニケーションを図る。

1年生：数について尋ねられたことに対して答える。

2年生：1年生と関わりながら、あといくつで12になるかを答える。

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援(●1年, ▲2年, ■ALT, ◆あじさい)	学習評価
— 1・2年別で— 1年●◆, 2年▲■ 1 Greeting	●▲ 英語で挨拶をした後、気分や天気、曜日、日付などについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。 ■◆ 参加しにくい児童や困っている児童に声をかけたり、一緒に声を出したりする。	
2 Warm up 「Numbers song」	●▲ 体も使いながら元気に歌うことで、本時の学習に楽しく取り組むことができるようにする。また、しっかり声を出すことができるようにする。 ■◆ 児童の近くで一緒に歌うことで、安心して活動できるようにする。	

<p>3 Review</p> <ul style="list-style-type: none"> Chants で fruits <ul style="list-style-type: none"> How many fruits? 	<p>●▲ チャンツのリズムに乗りながら発音することで、楽しく基本的な表現を復習できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Do you like (秋の果物) ? →Yes, I do./ No, I don't.</p> </div> <p>■◆ 児童の近くで一緒に声を出すことで、全員が安心して活動に参加できるようにする。</p> <p>●▲ 果物と数の絵カードを提示し、いくつか数えることで、数について学習するという見通しと楽しい気持ちをもつことができるようにする。</p> <p>■◆ 困っている児童に声をかけたり、一緒に発音したりすることで、全員が声を出して復習できるようにする。</p> <p>■ 間違いやあいまいな発音は、聞いて復唱させることで正しく発音できるようにする。</p> <p>●▲ 最後にどんぐりの数を数えることで、Aim につながるようにする。</p>	
<p>4 Aim</p>	<p>●▲ 本時で取り組む Aim について各学年で話し合うことで、それぞれのめあてや見通しをもって取り組むことができるようにする。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1年の Aim 2ねんせいとかずをかぞえよう。 2年の Aim 1年生も分かるように数を数えよう。</p> </div>	
<p>— 1・2年合同で —</p> <p>5 Demonstration</p>	<p>●▲ デモンストレーションをすることで、やり方を知り、スムーズに活動できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Rock, scissors, paper 1・2・3! →勝った児童が負けた児童からどんぐりを1個もらう。 A : Acorn, please. B : Here you are. A : Thank you. →ラッキーナンバーの数だけ集めていた人がラッキー。</p> </div>	
<p>6 Activity①</p> <ul style="list-style-type: none"> lucky acorn game (どんぐり) 	<p>■ 手元にどんぐりがなくなった児童のために、どんぐりを用意しておくことで、安心して活動できるようにする。</p> <p>◆ 特に支援を要する3名の様子を見たり、声をかけたりして、活動に参加できるようにする。</p>	
<p>7 Demonstration</p>	<p>●▲■ デモンストレーションをすることで、やり方を知り、スムーズに活動できるようにする。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1・2年生が2・3人組になり、スプーンを使ってゴールにどんぐりを12個運ぶゲーム。 ① 1・2年生が交代しながらゴールにどんぐりを運び、運ぶことができた数を数える。 T : How many acorns? → C : 5 ! (運ぶことのできたどんぐりの数) ②あと何個必要かを考える。 T : How many acorns do you want? → C : 7 ! (12をつくるために必要な数) ③制限時間内に必要な数のどんぐりを運ぶ。</p> </div>	

<p>8 Activity②</p> <ul style="list-style-type: none"> make 1 2 game 	<ul style="list-style-type: none"> ●■ Activity①や Activity②の中でよいと思った児童の姿を認め、新たなめあてをもって活動できるようにする。 ●▲◆ 表現に困っている児童がいたら、一緒に声を出すなどして、活動できるようにする。 ■ 聞き取ることが難しい児童に対して、ゆっくり発音して正しい表現を聞き取ることができるようにする。 ◆ 特に支援を要する3名の様子を見たり、声をかけたりして、活動に参加できるようにする。 	<p>◇ 数を表す表現や数を尋ねる表現を使って、友達や先生とコミュニケーションを図っている。 【思考力・判断力・表現力】(発言・行動)</p>
<p>9 Comment time</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●▲ 自分の頑張りを振り返るとともに、相手の学年がどのような思いをもって活動していたのかを知ることができるようにする。 ●▲ 1・2年での交流を踏まえて、他にどんな人との交流がしたいかを話し合い、他との交流へ視野を広げたり意欲を高めたりすることができるようにする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・他の学年の人や幼稚園の友達ともゲームをしたいです。 ・〇〇さんが上手に言うことができているとすごかったです。 ・〇年生と一緒に英語ができて楽しかったです。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発音や話し方についてよいと思ったことや次時への課題を伝えることで、次時への意欲を高められるようにする。 ▲ 1年生の姿でよいと思ったことを称揚することで、本時の学習への達成感を得られるようにする。 ● 2年生の関わりでよいと思ったことを称揚することで、次時への意欲を高められるようにする。 ◆ 1・2年生の関わりや本時でできるようになったことを称揚することで、異学年での交流のよさを感じられるようにする。 	
<p>10 Greeting</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 気持ちのよい挨拶をすることで、本時を気持ちよく締めくくることができるようにする。 	

(3) 板書計画

<p>1・2年生でどんぐりゲームをえいごでたのしもう。</p>		<p>果物と数 絵カード</p>	<p>果物絵 カード</p>	<p>果物絵 カード</p>							
<table border="1"> <tr><td>Greeting</td></tr> <tr><td>Warm up</td></tr> <tr><td>Review</td></tr> <tr><td>Aim</td></tr> <tr><td>Activity</td></tr> <tr><td>Comment time</td></tr> <tr><td>Greeting</td></tr> </table>	Greeting	Warm up	Review	Aim	Activity	Comment time	Greeting	<p><u>1ねんせいの Aim</u> 2ねんせいとかずをかぞえよう。</p>	<p>果物と数 絵カード</p>	<p>果物絵 カード</p>	<p>果物絵 カード</p>
Greeting											
Warm up											
Review											
Aim											
Activity											
Comment time											
Greeting											
	<p><u>2年生の Aim</u> 1年生も分かるように数を数えよう。</p>	<p>果物と数 絵カード</p>	<p>果物絵 カード</p>	<p>果物絵 カード</p>							
		<p>果物と数 絵カード</p>									